

【ニュース】

キエフの至宝として活躍するバレリーナ、エレナ・フィリピエワが、 歴史ある名門劇場キエフ・バレエの芸術監督に就任



毎年来日公演に訪れて、日本でもよく知られる名門劇場「キエフ・バレエ(=タラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ)」の新しいバレエ芸術監督に、ウクライナ共和国人民芸術家エレナ・フィリピエワ氏が就任いたしました。

エレナ・フィリピエワは、数多くの国際コンクールを受賞し、ウクライナを代表するバレリーナとして世界的に活躍。「キエフ・バレエ」のプリンシパルとして、劇場のほぼすべての演目に主演し、長年に渡ってこの劇場を牽引してきました。キエフの至宝と称えられる彼女は、日本へも幾度となく来日し、劇場の来日公演やガラ公演などの活躍で多くのファンに知られています。

劇場では、昨年11月に前芸術監督アニコ・レフヴィアシヴィリが急逝したため、バレエ芸術監督のポジションがしばらく空いていましたが、フィリピエワのバレリーナとしての多大な実績と劇場への貢献が評価されて、今年7月8日に劇場総裁より任命が行われました。9月13日より正式に新バレエ芸術監督としての仕事が始まります。

新型コロナの影響で、劇場は政府の要請を受け3月半ばから休演を続けていましたが、9月18日より劇場のシーズン開幕として座席数を半分に設定してコンサートを開催する予定。開幕に続けてバレエ・ガラ公演やオペラ公演も段階的に開始していく予定です。

例年、年末年始に行われる「キエフ・バレエ」の来日公演は、今年は見送られることになりましたが、2021年に来日公演が予定されています。



フィリピエワの就任コメント：

「大変光栄です。大きな責任を伴う仕事なので、劇場の様々な事柄や公演のクオリティ、この国のバレエ芸術の未来に対して真摯に向き合い、精一杯努力していく所存です。バレエフェスティバルなども企画し、才能あふれるアーティストたちを全世界に向けて紹介していきたいと思っています。」

また、新芸術督の仕事も行いながら、今後もバレリーナとして舞台に立ち続ける決意も表明しています。



(左から) ヴィタリー・ネトルネンコ(夫)、エリザヴェータ・フィリピエワ(娘)、エレーナ・フィリピエワ(本人)、寺田宜弘(キエフ国立バレエ学校芸術監督)

2020.9.16

お問い合わせ

株式会社 光藍社 KORANSHA

【MAIL】 koransha_pr@koransha.com

【TEL】 03-6457-4159 (月～金 10:00～18:00)

【WEB】 <https://www.koransha.com> 公演案内ほか